

# Find Art Find Yourself

## Art & Life 2020

### The 9<sup>th</sup> 高校生アートライター大賞 Art Writer Award for High School Students

高校生アートライター大賞は、アートについて自分の言葉で考え、伝える力を育むエッセイのコンテストです。  
第9回は2年間開催：2020年度は英語エッセイ、2021年度は日本語エッセイのコンテストを行います。

#### 英語エッセイ

アートについて自分の考えを1000語以内の英語で書く。

応募締切 2020年9月30日(水)

#### 募集テーマ

1. 日本のアート 2. 制作体験 3. アート & ライフ 2020

#### 応募方法

本リーフレットとウェブサイトを参照してください。

[www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~awa/](http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~awa/)



筑波大学  
University of Tsukuba

# 第9回高校生アートライター大賞 応募案内

## 英語エッセイ部門

### 課題

アートについて自分の考えを1000語以内の英語で書く

### 募集テーマ

- ◎ 日本のアート 日本のアートについて書く
- ◎ 制作体験 自分が作品をつくった体験をもとに書く
- ◎ アート&ライフ 2020 現在の世界的状況下で「アートと生きること」について書く

**応募締切** 2020年9月30日（水） **結果発表** 2021年3月ウェブ上にて

### 賞 〈賞状・記念品〉

大賞1～3編/ 優秀賞 5～10編/ 入選10～20編（応募数によって変動することがあります）

### 応募条件

応募者は応募時に、高等学校ならびにそれに相当する公的教育機関に在籍する生徒（日本では主に15歳から18歳）。

1000語以内で、個人が英語で執筆したエッセイ。

題名を各自でつけてください。

小論文のように論題を設定して論理的に考察しても、体験報告や随想のように個人的な思いを中心に語っても、雑誌や新聞記事のように伝えることを主眼にしたものでも構いません。

「アート」の範囲は、美術やデザインを中心とした視覚芸術を想定していますが、執筆者が自由に判断してください。

主催 筑波大学芸術専門学群

後援 茨城県 全国高等学校美術工芸教育研究会 国際美術教育学会InSEA

協力 ターナー色彩株式会社

企画 筑波大学芸術支援研究室

筑波大学社会貢献プロジェクト

### お問い合わせ

〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学芸術専門学群 高校生アートライター大賞選考委員会

awa@geijutsu.tsukuba.ac.jp TEL 029-853-2821

### 日本語エッセイ部門の開催時期について

2020年度に英語エッセイのコンテストを、2021年度に日本語エッセイのコンテストを開催します。日本語エッセイの応募案内は、2021年4月に公表します。



## 応募手順

高校生アートライター大賞のウェブサイトからインターネットを通じて応募してください。 [www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~awa/](http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~awa/)

Essays in Englishの応募方法ページを開きます。

[1] ページ上方のボタンをクリックしTemplate (Word) 等をダウンロードします。

[2] Templateファイルにエッセイを執筆します。

[3] 応募原稿のファイル名を、応募者名のローマ字 (姓\_名) にしてください。

(筑波太郎さんの例: tsukuba\_taro.docx)

ファイル形式は、マイクロソフトワード (docまたはdocx) のみ受け付けます。

[4] ページの右上方にある「Go to Application Form」をクリックして、必要事項を入力してください。

フォームの一番下にある「Save」ボタンで、記入途中の保存ができます。

[5] 「Upload」ボタンで応募原稿ファイルを指定し、「Submit 送信」ボタンを押してください。送信完了画面になり、送信完了を知らせるメールが届きます。

## 原稿作成上の注意

### 題名その他の情報

原稿の最初に、ファイル名 (ローマ字で応募者の姓\_名)、国、学校名、エッセイの題名、応募者の氏名を記入してください。

### 本文

必要に応じて、本文中に小見出しなどを用いても構いません。

### 引用と文献一覧

本やインターネット等から他の人の言葉や考えを引用する場合はクォーテーションマークで囲み、例えば下記のように引用元の資料を示してください。

McClellan stated, “Art museums have never been more popular” (McClellan 2008, 1).

(著者の姓, 出版年, 引用ページ)

引用した資料や参考にした資料の一覧をList of references として、エッセイ本文のあとに以下のように示してください。

- ・本の中から引用する場合

McClellan, Andrew.2008. *The Art Museum from Bullée to Bilbao*. Berkeley and Los Angeles: University of California Press.

(著者の姓, 名. 刊行年. 書名を斜体で. 出版地 : 出版社名.)

- ・雑誌の中の一つの章や記事の場合

Ashton, Alex. 2016. "Drawing on Philosophy – and Investigation of Theory in Praxis." *International Journal of Education Through Art*, 12: 271-289.

(著者の姓, 名.刊行年."記事の題名." 雑誌の題名を斜体で, 雑誌の巻:始まり-終わりのページ.)

- ・インターネットの場合

School of Art and Design. 2019. "History of the School of Art and Design." Accessed April 1, 2019. <http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp>

(著者名. 刊行年. "題名." アクセス年月日. URL)

掲載した図の一覧を List of figures として、エッセイ本文のあとに以下のように示してください。

本などから図を引用（複製）した場合は、例えば以下のように最後に引用元を示してください。

Figure 1. A page from the instruction book for professional painters. Hokusai Katsushika, *Ehon Saishikitsu*, 1848, 54-55.

(図の名称.著者名, 書名を斜体で,刊行年, 引用ページ.)

あなた自身の作品を掲載する場合は、例えば以下のように示してください。

Figure 2. Alex Ashton, Untitled; a drawing from my sketchbook, 2020. Photo by the author.

(作者名, 作品名, 制作年. 撮影者名等.)

上記の引用の仕方の例は、Chicago Manual of Styleを参考にしています。

これ以外でも、MLA (The Modern Language Association)など、標準的な論文の書き方に沿っていただかまいません。

なお、文章末に入れるこれらの参考資料一覧は、本文の文字数には含めません。

## 図や写真

応募原稿の本文で扱う作品や情景等の画像をできる限り掲載してください。ただし、むやみにたくさん画像を貼るよりも、本文に沿って必要なものを、見やすく効果的に配置することが大切です。

画像は原稿ファイルに直接ペースト（貼り付け）してください。画像の「折り返し」設定等で、文字と画像が重ならない設定などを選択するとよいでしょう。

美術作品の写真を用いる場合には、作品の簡単な説明（作者名、題名、大きさ、素材、技法、制作年、所蔵場所など）を、本文中に括弧で示してください。

あるいはこれらの説明を画像の下にキャプションとして入れることもできます。

例えば「テキストボックス」を用いて文字を入力し、画像の下に配置してその画像と「グループ化」すると、レイアウトが乱れにくくなります。

複数の画像を掲載する場合は、キャプションに「Figure 1」など連番をつけてください。

応募された文章をコンテストの主催者が公表する際には、画像の著作権の関係上、写真等を取り除いた形で発表することがあります。

### **個人情報**

インターネットの応募フォームを通して送信された情報は暗号化され、安全に保護されます。

ご提出いただきました個人情報は厳重に管理し、本コンテストとその発展のための研究のみに使用します。

応募原稿の著作権は、筑波大学芸術専門学群に帰属します。

応募原稿を出版物やインターネット等で公開することがあります。